

第15回 L G - N e t 研修会 in I W A K I News letter

令和7年5月28日 Vol.3 お申込ダメ押し号

1 登壇講師紹介～松原勝利 講師～

登壇講師の3人目、高知県幡多広域市町村圏事務組合租税債権管理機構の松原勝利講師をご紹介します。

松原講師は、高知県佐川町職員等を経て、令和6年から現職である徴収管理監の任にあります。佐川町職員時代から高知県納税課、租税債権管理機構への出向経験もあります。

徴収現場の経験豊富なうえ、貸金業務取扱主任者の資格もお持ちの松原講師には、「明日からできる債権管理 貸付金編」という演題でご講演いただきます。

自力執行権のある税や料とは異なり、貸付金のような私債権は公権力が及ばない私債権です。とはいえ、この原資が「税」であることに変わりません。理由はどうあれ踏み倒されるわけにはいきません。

松原講師からは「債権管理」という視点を中心に契約から完納までをわかりやすく解説していただきます。消滅時効や行政対象暴力への対応など、まさに幅広く取り上げていただきます。

明日の私債権回収業務に役立つ講演です。

コラム いわき市にまつわるお話その2

草野心平という詩人はご存じでしょうか。この名前にピンとこない方も、

「るるん るるんぶ るるんぶ るるん つんつん つるんぶ つるんぶ つるん」

というフレーズはなんとなく目に、あるいは耳に残っているのではないのでしょうか。これは草野心平による「河童と蛙」という誌の一節です。国語の教科書にも掲載されています。

いわき市は、この詩人・草野心平の出身地です。

明治36年に今のいわき市小川町で生まれた新平は幼少をいわきで過ごした後に上京、慶応義塾を中退して中国の嶺南大学に学びますが、抗日運動により卒業せずに帰国し、新聞社、出版社などに勤める傍ら、詩人として活動します。

終戦後は貸本屋、バー、居酒屋など様々な自営業を転々としながら誌を書き続けました。

昭和63年に85歳で没するまで、蛙をテーマに誌を現したことから「蛙の詩人」とも評されました。

いわき市には「草野心平記念文学館」があります。

2 登壇講師紹介～柏木 恵 講師～

講師紹介の4人目は、キャノングローバル戦略研究所の柏木恵研究主幹です。

柏木講師は財政と社会保障分野を軸足に置き、地方財政や公会計制度、行政のICT化など「行政」の幅広い分野を研究フィールドに据えておられます。

中でも税制については租税のあり方、徴収強化対策、税務業務改革などを海外事情もまじえて考察されています。

今回、柏木講師には「これからの地方における税財政・税徴収を考える」というテーマでご登壇いただきます。

日本で地方分権がテーマとなり20年以上がたちました。国と地方のあり方は、それまでの縦列から並列にかわりゆくなか、社会資本と社会保障の財源となる税収の確保は重要度を増しています。くわえて、少子高齢化による人口減少社会が現実となるなかでは、人的資源も含めた徴税コストをいかに抑えるかが鍵となります。

この問題を、徴収実務をしながら考えることがあまりないかもしれない「滞納はなぜ起こるのか？」という視点と、「滞納の研究」の変遷など学術的な要素を絡め、俯瞰的かつ仰視的に「徴収」を論じていただきます。

日々仕事をしていると、業務のルーティーンや目先の数字に追われがちではありますが、その仕事の「先の意味」を考えるきっかけになる講演にご期待ください。

3 協賛・協力のご紹介

本研修会の開催にあたりまして、協賛をいただいている企業様をご紹介します

(協賛)

西鉄情報システム株式会社 様

(協賛・当日ブース出展)

SocioFuture株式会社 様

株式会社シンク 様

北日本コンピューターサービス株式会社 様

富士通JAPAN株式会社 様

富士フイルムシステムサービス株式会社 様

(協力)

株式会社ぎょうせい 様

なお、ブース出展に関しましては、例年ですとホール・エントランスなどでおこなっておりますが、会場施設の都合上研修会場と同じフロアの別室になります。当日ご案内いたしますので、休憩時間等を活用して是非お立ち寄りください。

後記 参議院議員選挙にくわえ同日選も未だに囁かれる中、出水期が到来します。穏やかな年になりますように、多くの米が実りますように。(OY)